

言葉磨き（教師の発問、共感、児童生徒のつなぎ発言等）は、児童生徒の思考を深めることに有効であったか。

○成果

- ・話形を提示することで生徒は答えやすかった。
- ・なぜそういう解答なのかを理由まで生徒に考えさせることができた。

●課題

- ・生徒の意見に対しての考えを述べさせるようにすることで生徒同士の共感が高まる。
- ・ナンバリング形式で答えさせることも必要である。
- ・生徒の声をボリュームが小さかった。

改善のポイント

- ・教師が生徒の意見を生かすための発展的な切り返しの質問をしていくことが大切である。そのために質問の仕方についてたくさんの引き出しが必要である。
生徒の声が聞こえにくかったので声の大きさについては指導していく必要がある。

I C Tの活用は児童生徒の思考や理解を深めることに有効であったか。また、児童生徒の主体的に学ぼうとする意欲を高めたか。

○成果

- ・事前アンケートの結果を提示しながらの授業で生徒の興味関心を引き出した。
- ・グループワークしたことを写真に撮り、それを大画面で提示することはホワイトボードを使うよりもわかりやすく、全体にも共有しやすかった。
- ・I C Tの活用で視覚的に生徒が取り組む内容を確認しやすく、意欲的に作業に取り組むことができた。

●課題

- ・避難経路の地図の横に短冊をつけさせて、なぜその経路にしたかの理由を書かせることでより生徒の考えがわかりやすくなる。（写真に撮る中身の工夫）
- ・めあてはワークシートに書いてあっても黒板に貼っておくなど常時提示した方が良い。

改善のポイント

- ・I C Tの活用に関しては自分の知識では使い方が限られており、今後研修していく必要がある。
- ・めあてはホワイトボードに提示する。